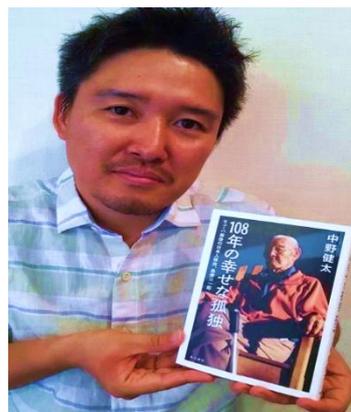


京都AALA主催

キューバ学習会

激動のキューバを20年間見てきたジャーナリスト 中野健太

ジャーナリストが見た キューバ



徹底的な取材をする情熱と温かな人柄が魅力的！

いったいどんな国？ 政治、経済、文化、人々の暮らし

中野健太 [ナカノケンタ]

1978年、京都府生まれ。映像ジャーナリスト。ロンドン芸術大学の映像学科を卒業後、キューバの番組制作会社で映像を学び、帰国。ドキュメンタリー制作会社で数多くのドキュメント制作に携わる。現在はフリーランスの映像ジャーナリストグループASIANEWSに所属し、京都文化社の代表として活躍。

DVD上映あります
来てね

2月17日(土) 2時～4時

場所：あすかいほっとスペース

(田中飛鳥井町。百万遍から東大路通を北へ徒歩7分程 西側)

あすかい診療所ビルの1階)

費用：300円

(コーヒー・紅茶・ケーキ付)



著書「108年の幸せな孤独」キューバ最後の日本人移民、島津三一郎

「内容説明」

キューバに魅せられ、取材を重ねていた著者は、100歳間近の日本人移民が、今も暮らすことを知る。小さな島の老人ホームで暮らす島津三一郎。足跡をたどるなかで、移民たちの知られざる姿が浮き彫りになっていく。第二次世界大戦中、敵国人として強制収容された男性、キューバ革命に参加した日系人、そして一。

フィデル・カストロが率いた独裁国家で、誇りを持ち、懸命に生きた移民たちに光を当てたノンフィクション。

